

清藤大輔医師による「介護医学」連続講座

東京 総合ケアセンター駒場苑 (2階)
 (東京都目黒区大橋 2-19-1)
 ☆京王井の頭線「駒場東大前」駅西口より徒歩5分

講師
 ・清藤大輔
きよふじ だいすけ



しいの木クリニック・院長/医師
 1994年、熊本大学医学部卒。
 仙台市での在宅ホスピス勤務医を経て、2003年より11年間、老健施設の施設医を務める。2014年より介護老人保健施設・志木瑞穂の里副施設長、2015年より施設長。2018年、同施設退任後、ういずクリニック新横浜・院長を経て、2018年12月より現職。

2019年4月14日(日)からスタート!!
 連続講座(全3回)
 時間 10:30 ~ 16:00 (各回共通)

第①回 4/14(日)	<h2>高齢者と病気の医学知識</h2> <p>【高齢者の病気の特徴】 あいまいな訴え、はっきりしない症状/多臓器に病気/廃用症候群と老年症候群/多剤併用による副作用や病気/検査値のバラつき/社会的背景がきっかけとなる病気/病気の予後が若年者と異なる/脱水はあらゆる病気を真似する/高齢者の病状管理の方程式</p> <p>【症状から読み取れる見逃せない病気】 発熱がある/意識障害がある・意識が消失する/けいれんがある/食欲がない/嘔気・嘔吐がある/誤嚥がある/むくみがある/動機や息切れがする/尿の量が少ない/なんとなくおかしい、落ち着きがない</p> <p>【慢性疾患の管理とアセスメント】 ①肺炎・誤嚥性肺炎/②COPD/③慢性心不全/④慢性腎不全(CKD)/⑤肝不全/⑥パーキンソン症候群/⑦便秘・イレウス/⑧糖尿病/⑨薬を減らすケア/⑩自然排便の8原則ケア/⑪入浴時・食事時・排泄時の注意点/⑫入院を減らすケア</p> <p>【注意が必要な薬の知識】 安全な薬物療法の9原則/副作用と薬物有害事象/認知症薬、向精神病薬の考え方と使い方/副作用のサイン(めまいやふらつき、傾眠傾向、手のふるえ、転倒、不穏な行動)</p>
第②回 5/12(日)	<h2>急変時の介護医学</h2> <p>【急変の早期発見と早期対応】 急変とはどういう事か/なぜ急変するのか/急変は予防できるか/慢性疾患の急性増悪/急変のリスク因子/事故防止の3つのレベル/救急車が来るまでにすべきこと/まずは脱水を疑う/発熱を見たら?/薬と急変</p> <p>【2つ以上の症状の危険な組み合わせ】 意識レベルの低下+(呼吸器症状、むくみ・息切れ、血圧上昇、手足の麻痺、冷汗、血圧低下)/頭痛+(嘔吐、首の痛み)/38度以上の発熱+(脈90以上、血圧低下、低血糖、腎機能低下)/入浴後+めまい/多量の排便+意識障害</p> <p>【急変時のサインと緊急性の高い症状】 バイタルサインのパニック値、症状がどんどん悪くなる、急な体調変化・ADL低下、手足のしびれ、突然の激しい頭痛・食欲不振・胸痛・腹痛、便の色の異常、嘔吐、けが・骨折、薬の処方が変わった後の新規症状</p> <p>【急変時の症状別対応】 高熱・誤嚥・窒息/呼吸困難/意識障害/けいれん・てんかん/激しい頭・胸・腹痛/吐血・下血/骨折/やけど/鼻出血/低血糖発作と症状/入浴時の高血圧と急変</p>
第③回 6/16(日)	<h2>安全な薬物療法の介護医学</h2> <p>【高齢者と薬】 なぜ薬が増えるのか/脱水はあらゆる病気をマネする/廃用症候群と老年症候群/認知症という病名はない/認知症の4大原因疾患/BPSDに安易な薬は危険/多剤併用という問題/老年医学会の見解/薬剤師の出番/副作用への対応法</p> <p>【安全な薬物療法の9原則とは】 診断/服用歴/投与量/薬剤数(5種類以下にする)/血中濃度/服用法/服薬状況/老年症候群を引き起こす薬</p> <p>【抗認知症薬、向精神病薬、下剤はケアで減らせる】 減薬の実際/認知力低下・錯乱/うつ状態/転倒/起立性低血圧/便秘/尿失禁/薬を減らすケア/入院を減らす自然排便+口腔ケア</p> <p>【薬の副作用と薬物療法の実際】 新規症状は薬の副作用を疑う/危険因子+アセスメント+治療/避けるべき薬のリスト/誤嚥性肺炎、便秘、下痢、嘔吐、頻尿・尿失禁の予防/糖尿病治療の工夫/認知症治療の工夫、など</p>

*受講料はお送りしません。満員でお断りする場合のみご連絡申し上げます。
 *連続で受講される方は、初回に受講料をいただきます。
 その際、パスポートを発行しますので、2回目以降、忘れずにご持参ください。

受講料 *当日会場
 で承ります **1回 7,000円**
3回通し(①②③) 18,000円

*当日はスリッパをご持参ください。

主催 **なるほどケア塾** お問い合わせ
〒189-0011 ☎042-306-3771
 東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 ㈱円窓社内

お申し込みはこちらへ Fax

Fax : 042-306-3772

< 参加人数 >

< 参加者名 > *施設の場合は施設名もご記入ください。	① 4/14 ()名	3 回 通 し () 名 ① ② ③
< 住所 >〒 (自宅・職場)	② 5/12 ()名	
< TEL >	③ 6/16 ()名	
< FAX >		